



## 断熱ガラスコートとの性能比較

①断熱ガラスコートは、3mmフロートガラスとほとんど変わらぬ透過率で、冬場の可視光エネルギーをさえぎりません。NTTのアットシールドクリア、色付きフィルム、色付き熱線吸収ガラスは、冬、可視光熱を遮断します。夏向けの商品に適しています。

②断熱ガラスコートは、赤外線を大幅カットする為室内暖房から発する遠赤外線を、ATOの特殊金属膜が吸収し、外側への放熱を防ぐ為、窓際の冷副射（冷え冷え）が大幅に解消されます。

③単板ガラスに比べて赤外線部の熱カットが大きい分だけ、暖房効率が高くなります。暖房器具は、遠赤外線がほとんどです。

④スパッタのLow-Eガラス（遮熱ペアガラスに使用）に比べると可視光域、赤外線域で断熱ガラスコートは遮熱では少し負けますが、Low-Eガラスは高額で新築向きです。既存の単板ガラスやノーマルペアガラスには、後施工で、簡単に、安いコストで遮熱化できる断熱ガラスコートが最高です。

⑤現在、普及しているノーマルペアガラスだけでは、なかなか冷え冷えは防げません。単板ガラスに断熱ガラスコートをコートするとノーマルペアよりも遮熱効果が高くなります。さらに、ノーマルペアの室内側にコートするとさらに遮熱効果が上がります。